

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	408	2年	後期	臨床検査学科	必修	病理学実習 Practice in Pathology	45	1
担当教員								
則松 良明		細川 翔						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
○	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
○	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学術的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
光学顕微鏡で観察する試料の作製方法とその技術を修得して、身につけることができる。また、H E染色や特殊染色、免疫染色等の組織標本や細胞診標本（呼吸器、循環器、消化器、泌尿器、女性生殖器等の領域の正常および病変組織や細胞）を顕微鏡によって詳細に観察し、人体内部を構成する正常および病変の組織学的特徴を解析・評価することができるようになる。								
到達目標（授業目標）								
①光学顕微鏡試料作製法(組織の固定・切出し・脱灰・脱脂・包埋など)の意義と流れが説明できる。								
②組織パラフィンブロックの薄切(凍結標本含む)ができる。								
③呼吸器系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
④循環器系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
⑤消化器系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
⑥内分泌系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
⑦泌尿系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
⑧女性生殖器系疾患標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								
⑨細胞診(正常・病変)標本の観察とそのスケッチの作成および所見が説明できる。								

授業計画（項目・内容と方法・担当者）	
1回	光学顕微鏡試料作製法Ⅰ：組織の固定・切出し・脱灰・脱脂・包埋などの意義と流れについて講義する。(担当:則松良明)
2回	光学顕微鏡試料作製法Ⅰ：組織の固定・切出し・脱灰・脱脂・包埋などの意義と流れについて講義する。(担当:則松良明)
3回	光学顕微鏡試料作製法Ⅱ：組織パラフィンブロックの薄切（凍結標本含む）の意義と流れについて講義および標本作製を行う。(担当:細川翔)
4回	光学顕微鏡試料作製法Ⅱ：組織パラフィンブロックの薄切（凍結標本含む）の意義と流れについて講義および標本作製を行う。(担当:細川翔)
5回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅰ：呼吸器系疾患の標本観察（肺感染症、腫瘍など）とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
6回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅰ：呼吸器系疾患の標本観察（肺感染症、腫瘍など）とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
7回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅱ：呼吸器系疾患（肺感染症、腫瘍）、甲状腺疾患(炎症、腫瘍)の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
8回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅱ：呼吸器系疾患（肺感染症、腫瘍）、甲状腺疾患(炎症、腫瘍)の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
9回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅲ：甲状腺疾患(炎症、腫瘍)、循環器系疾患（心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
10回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅲ：甲状腺疾患(炎症、腫瘍)、循環器系疾患（心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
11回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅳ：循環器系疾患（心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤）、消化器系疾患の観察（食道・胃の腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
12回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅳ：循環器系疾患（心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤）、消化器系疾患の観察（食道・胃の腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
13回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅳ：消化器系疾患の観察（食道・胃の腫瘍）、消化器系疾患の観察（大腸・膵臓の腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
14回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅳ：消化器系疾患の観察（食道・胃の腫瘍）、消化器系疾患の観察（大腸・膵臓の腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
15回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅴ：消化器系疾患の観察（大腸・膵臓の腫瘍）、消化器系疾患の観察（肝炎・肝硬変）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
16回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅴ：消化器系疾患の観察（大腸・膵臓の腫瘍）、消化器系疾患の観察（肝炎・肝硬変）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
17回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅵ：消化器系疾患の観察（肝炎・肝硬変）、女性生殖器系疾患の観察（子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
18回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅵ：消化器系疾患の観察（肝炎・肝硬変）、女性生殖器系疾患の観察（子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
19回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅶ：女性生殖器系疾患の観察（子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍）、泌尿器系疾患の観察（腎炎、尿路腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
20回	正常・病変組織標本の観察と評価Ⅶ：女性生殖器系疾患の観察（子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍）、泌尿器系疾患の観察（腎炎、尿路腫瘍）の観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
21回	細胞診(正常・病変)の観察と判定Ⅰ：呼吸器領域、婦人科領域の細胞標本観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
22回	細胞診(正常・病変)の観察と判定Ⅱ：婦人科領域、体腔液領域の細胞標本観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
23回	細胞診(正常・病変)の観察と判定Ⅲ：体腔液領域、穿刺吸引細胞診領域(甲状腺・乳腺)の細胞標本観察とスケッチを行う。(担当:則松良明、細川翔)
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	

レポート(20%)、筆記試験(80%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書
 ・松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」(医歯薬出版)
 ・水口國男・石川喜美男・三瓶接子「カラー版 組織アトラス-正常と病変-」(医歯薬出版)

参考図書等
 水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)

授業時間外の学習について(授業準備のための指示)

必ず病理学講義の資料と本実習の資料を熟読して理解できていない部分を明確にして授業に臨んでください。

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ	146	人体の構造・機能Ⅲ	147	人体の構造・機能実	154	疾病発生の機序(共
後科目	409	病理組織細胞学	410	病理組織細胞学実習						

実務家教員

臨床検査技師(医療機関)	則松 良明	細川 翔							

備考
 授業前に配布している資料ファイルを活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー(学生専用ページから曜日時間を確認してください。)を活用して質問しに来てください。